



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
 コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 大庭 寿一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部課長 (氏名) 高橋 英知

TEL 03-3239-3185

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,725	22.7	49		30		58	
2019年3月期第3四半期	15,168	14.4	262		246		286	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 62百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 332百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	2.85	
2019年3月期第3四半期	14.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	6,690	5,382	78.2	253.04
2019年3月期	7,126	5,324	72.5	261.00

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,230百万円 2019年3月期 5,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	12.3	120		130		15		0.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	24,087,009 株	2019年3月期	24,087,009 株
2020年3月期3Q	3,414,841 株	2019年3月期	4,283,536 株
2020年3月期3Q	20,533,616 株	2019年3月期3Q	19,803,850 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されるものの、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があります。また、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界においては、新車登録台数は、約302万台（軽自動車含む、乗用のみ、貨物・バス除く）となり、前年同期比で2.0%の減少となりました。また、中古車登録台数は、約420万台（前項と同条件）となり、前年同期比で1.4%の増加となりました（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）。

このような環境の中で、当社グループは、国内におきましては、従前より開始しております暗号資産（仮想通貨）決済、カーリース、レンタカー、保証メンテナンスなどに加え、カーエアコンクリーニングなど他社との提携も含めた顧客サービスの拡充を図っており、期初より掲げております『顧客ファースト』の実現に向けて、「買取直販」による良質車両の仕入強化および利益率の高い顧客販売の強化を推進しております。

また、海外におきましては、中古車輸出国内大手企業との提携により現地にサポートデスクを開設するなど、現地での知名度の向上とアフターサポート体制の構築に努めております。

さらに、中国企業との提携につきましては、中国での合弁会社が設立され、いよいよ中国における中古車輸出の取り扱いを拡大するとともに、今後の全世界的な事業への発展を進めて参ります。

それらの施策を実現していくうえで、当社グループが運営しております中古車インターネットプラットフォーム『PicknBuy24.com』を含めた総合的なシステムの強化、AIなどの最新技術の導入による業務の効率化を目的として、外部よりCIOを招聘しております。

このような状況のもと、昨年、スクラップアンドビルドを進めたこと、10月の消費税増税後の消費が想定ほど伸びなかったこと、輸出の売上が落ち込んだことなどはありますが、生産性および効率性を重視した施策により、営業利益においては、前年同期と比較して、213百万円の大幅な改善となっております。今後につきましては、引き続き「買取直販」による利益率の高い顧客販売に注力していくとともに、お客様との継続的な関係の構築および他社との提携の強化によるサービスの向上などにより、さらなる業績の向上に努めて参ります。

以上の結果、売上高は11,725百万円（前年同期比22.7%減）、売上総利益は2,493百万円（前年同期比19.1%減）、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失262百万円）、経常損失は30百万円（前年同期は経常損失246百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は58百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失286百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,690百万円となり、前連結会計年度末と比べ、435百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加450百万円、受取手形及び売掛金の減少361百万円、商品の減少495百万円などによるものであります。

負債合計は1,308百万円となり、前連結会計年度末と比べ、494百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少167百万円、未払金の減少99百万円、前受金の減少92百万円、長期借入金の減少75百万円などによるものであります。

純資産は5,382百万円となり、前連結会計年度末と比べ、58百万円増加いたしました。その主な要因は、自己株式の減少が277百万円、資本剰余金の減少77百万円、剰余金の配当79百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失58百万円などによるものであります。この結果、自己資本比率は78.2%（前連結会計年度末72.5%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ707百万円増加し、残高は2,596百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失は24百万円であり、売上債権の減少361百万円、たな卸資産の減少470百万円、仕入債務の減少167百万円、未払金の減少99百万円、前受金の減少92百万円などの要因により、結果として441百万円の収入となりました（前年同期は278百万円の支出）。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円、敷金および保証金の回収による収入9百万円などの要因により、結果として37百万円の支出となりました（前年同期は56百万円の支出）。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式処分による収入199百万円、長期借入金の返済による支出75百万円、配当金の支払額78百万円などの要因により、結果として45百万円の収入となりました(前年同期は154百万円の支出)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月6日に公表いたしました「2020年3月期第2四半期決算短信」のとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,746,032	3,196,194
受取手形及び売掛金	506,862	145,480
商品	2,020,239	1,524,554
貯蔵品	507	644
その他	374,758	323,543
貸倒引当金	△770	△767
流動資産合計	5,647,629	5,189,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,114,349	1,090,672
減価償却累計額	△709,756	△719,934
建物及び構築物(純額)	404,592	370,737
土地	515,582	515,582
その他	228,367	217,761
減価償却累計額	△185,279	△175,455
その他(純額)	43,087	42,305
有形固定資産合計	963,262	928,625
無形固定資産		
その他	501	68,727
無形固定資産合計	501	68,727
投資その他の資産		
投資有価証券	20,176	20,176
差入敷金保証金	488,315	477,484
破産更生債権等	2,115	1,649
その他	17,814	16,160
貸倒引当金	△13,334	△11,624
投資その他の資産合計	515,088	503,847
固定資産合計	1,478,852	1,501,199
資産合計	7,126,481	6,690,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	307,674	139,759
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	276,269	176,288
未払費用	165,960	140,656
前受金	382,357	290,117
未払法人税等	41,160	35,678
賞与引当金	4,963	7,000
店舗閉鎖損失引当金	32,138	22,765
その他	78,365	75,130
流動負債合計	1,408,889	1,007,396
固定負債		
長期借入金	175,000	100,000
預り保証金	10,475	10,467
繰延税金負債	14,295	9,415
資産除去債務	175,906	167,685
その他	17,675	13,114
固定負債合計	393,353	300,682
負債合計	1,802,242	1,308,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,816,034
資本剰余金	846,636	769,279
利益剰余金	2,872,378	2,734,674
自己株式	△1,366,268	△1,089,126
株主資本合計	5,168,780	5,230,862
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	152,748	149,198
純資産合計	5,324,239	5,382,771
負債純資産合計	7,126,481	6,690,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	15,168,766	11,725,351
売上原価	12,085,194	9,232,152
売上総利益	3,083,571	2,493,199
販売費及び一般管理費	3,346,525	2,542,951
営業損失(△)	△262,953	△49,751
営業外収益		
受取利息	4,208	3,079
受取配当金	1,540	1,543
受取手数料	2,538	2,147
受取保証料	2,357	1,576
金利スワップ評価益	816	885
為替差益	10,434	-
雑収入	7,099	20,497
営業外収益合計	28,995	29,729
営業外費用		
支払利息	2,107	1,453
支払保証料	5,272	5,463
修理費	401	-
為替差損	-	1,517
雑損失	4,947	1,560
営業外費用合計	12,729	9,994
経常損失(△)	△246,687	△30,016
特別利益		
受取保険金	18,422	11,374
固定資産売却益	-	320
特別利益合計	18,422	11,694
特別損失		
固定資産除却損	788	-
減損損失	3,705	-
貸倒引当金繰入額	20,473	-
災害による損失	41,711	6,431
特別損失合計	66,679	6,431
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,944	△24,753
法人税、住民税及び事業税	39,336	42,165
法人税等調整額	△1,545	△4,879
法人税等合計	37,790	37,286
四半期純損失(△)	△332,734	△62,039
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,144	△3,418
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△286,589	△58,621

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△332,734	△62,039
四半期包括利益	△332,734	△62,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△286,589	△58,621
非支配株主に係る四半期包括利益	△46,144	△3,418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,944	△24,753
減価償却費	72,819	65,194
減損損失	3,705	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,854	△1,713
賞与引当金の増減額(△は減少)	△416	2,037
受取利息及び受取配当金	△5,748	△4,623
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	△9,372
災害損失	△41,711	6,431
支払利息	2,107	1,453
受取保険金	△18,422	△11,374
売上債権の増減額(△は増加)	568,208	361,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	△258,936	470,548
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△1,460	2,026
仕入債務の増減額(△は減少)	△167,415	△167,915
未払金の増減額(△は減少)	△120,125	△99,980
未払費用の増減額(△は減少)	△31,126	△25,303
前受金の増減額(△は減少)	53,985	△92,239
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,732	11,138
その他	△4,469	△13,197
小計	△249,828	469,736
利息及び配当金の受取額	5,140	4,875
利息の支払額	△2,107	△1,453
災害による保険金収入	18,422	11,374
法人税等の還付額	-	529
法人税等の支払額	△50,274	△43,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	△278,647	441,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,607	△2,797
無形固定資産の取得による支出	△22,790	△35,509
敷金及び保証金の差入による支出	△801	△127
敷金及び保証金の回収による収入	8,759	9,457
資産除去債務の履行による支出	△8,527	△9,266
出資金の払戻による収入	800	-
その他	△29,799	345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,965	△37,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2,113	△1,081
長期借入金の返済による支出	△75,000	△75,000
自己株式の処分による収入	-	199,999
自己株式の取得による支出	△82	△214
配当金の支払額	△78,253	△78,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,448	45,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,546	1,411
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△480,515	450,162
現金及び現金同等物の期首残高	2,368,782	2,146,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,888,267	2,596,194

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年4月25日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月15日付で、EMMINENCE, LLCを引受先とした第三者割当による自己株式869,565株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が77百万円減少、自己株式が277百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が769百万円、自己株式が1,089百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

合併会社設立

当社は、2019年12月18日開催の取締役会決議に基づき、2020年1月7日に、中国に青島新華錦汽車貿易有限公司との合併会社（持分法適用関連会社）を設立いたしました。

I 設立の目的

中国に自動車及び関連部品の物流事業及び輸出事業を行う拠点を構築することにより、今後、合併会社を經由して、中央アジア、EU方面への物流・輸出などの事業について本格的に進めていくとともに、当社が培ってきた日本での自動車流通や査定技術のノウハウにより中国国内での中古車市場における事業展開を目指してまいります。

II 合併会社の概要

(1) 名称	青島新馳汽車有限公司 (英語名：Qingdao SinTi Automobile Co., Ltd.)	
(2) 所在地	中国（山東）自由貿易試験区青島片区前湾保税港区北京路45号総合办公楼207室 (A)	
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 張航（青島新華錦汽車貿易有限公司 董事） 副董事長 大庭寿一（当社 代表執行役社長）	
(4) 事業内容	中古車および関連部品の輸出	
(5) 資本金	1億円	
(6) 設立年月日	2020年1月7日	
(7) 決算期	12月期	
(8) 出資比率	青島新華錦汽車貿易有限公司	66.66%
	株式会社カーチスホールディングス	33.34%